

第1回

認知症と口腔衛生

超高齢化に伴って認知症となる人は今後も増加を続けると予測され、厚生労働省のデータによると、2025年には700万人を超えるとの推計値が発表されています。これは、65歳以上の高齢者のうち、5人に1人が認知症に罹患する計算となり、その対策はわが国の公衆衛生上重要な課題です。そこで今からできる予防策を皆さんで考えていきたいと思えます。

日時：2018. **11.28** (水) 14:00～16:30 (開場：13:30) ※終了時刻は予定です

会場：全電通労働会館 (千代田区神田駿河台3丁目6) 定員：420名

参加費
無料

はじめに

こころとからだの元氣プラザ 統括所長 中村 哲也

ご挨拶

東京都 福祉保健局 医療政策部 歯科担当課長 三ツ木 浩氏

プロローグ



「認知症を包括的に予防する！」

寺本 民生 先生

帝京大学臨床研究センター センター長、こころとからだの元氣プラザ 理事

講演



「認知症とアルツハイマー病：その病態から予防・治療へ」

岩坪 威 先生

東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野・教授、J-ADNI 主任研究者

講演



「歯周病とアルツハイマー病の関連性

～お口からはじめる認知症予防～」

松下 健二 先生

国立長寿医療研究センター・口腔疾患研究部 部長

講演



「お口の健康からみた健康長寿—認知症予防—」

葭原 明弘 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔保健学分野 教授

パネル
ディスカッション

座長：寺本 民生 先生

パネリスト：岩坪 威 先生、松下 健二 先生、葭原 明弘 先生 (ご登壇順)

終演挨拶

こころとからだの元氣プラザ 特任所長 及川 孝光

主催 医療法人社団 **こころとからだの元氣プラザ** / 一般財団法人 **東京顕微鏡院**

後援 厚生労働省、東京都、 健康日本21推進全国連絡協議会、日本医師会、東京都医師会
日本歯科医師会、東京都歯科医師会